

仁淀川における「今後連携して取り組むべき対策」（案）

1. 気候変動による影響も踏まえた治水安全度の評価（整備目標）のあり方の検討
2. 国・県・市町村が連携して、流域全体の治水安全度を計画的に向上させる検討
3. 流域が広く地域によって状況が異なるため、支川等の地域毎での治水安全度の向上策の検討
4. 企業地、農地等における貯留機能確保等、浸水対策のあり方の検討（条例による規制の考え方等）
5. 氾濫時における住民の安全を確保するための対策（避難を促すための情報提供、道路冠水等の避難阻害要因の抽出等）
6. 上流域における土砂災害対策（特に大規模被害をもたらしかねない河道閉塞対策）
7. ダム放流における課題（振動、臭い、濁水等）の対策

※ 其他のご意見についても引き続き議論します